

平成 26 年度 第 5 回理事会抄録

日時：平成 26 年 9 月 20 日（土）13：00～17：47

場所：一般社団法人日本作業療法士協会事務所 10 階会議室

出席：中村（会長）、山根、清水順、荻原（副会長）、宇田、香山、荻山、土井、三澤、山本（常務理事）、大庭、小林毅、谷、藤井、宮口（理事）、長尾（監事）

理事会の求めによる出席：富岡（WFOT 代表）、岡本（財務担当）、小賀野（企画調整委員長）、西出（生涯教育委員長）、清水兼（都道府県士会連絡協議会会長）

I 報告事項

1. 法人会計に係る辻・本郷税理士法人との顧問契約について（香山財務担当理事）顧問契約を正式に取り交わすこととなり、会計事務所より案が提出された。
2. 第 49 回学会（兵庫）の予算案に係るメール審議の結果について（中村会長）メール審議の結果、賛成 15、反対 0 で予算案は承認された。
3. 第 50 回学会（北海道）に係るコンベンションリンケージ社との業務委託契約について（荻原事務局長）業務委託契約書の案を作成した。
4. 叙勲候補者推薦に係る今後の渉外活動について（中村会長）候補者の役員歴について医事課から指摘された点に対しては今後調査し検討していく。
5. 日本リハビリテーション・データベース協議会（JARD）への対応について（清水順副会長）JARD のデータの使用頻度、効果について現在検討中である。
6. 専門作業療法士制度新規分野（訪問作業療法）の特定について（大庭教育副部長）新規分野特定のための要件の内容、カリキュラム等が挙げられた。来月理事会にて審議。
7. 平成 27 年度介護報酬改定要望事項（リハ専門職団体協議会）について（中村会長）要望事項が 8 月にまとまった。この内容で厚生労働省に要望する。
8. 社会保障審議会介護給費分科会でのプレゼンテーション（9/10）について（中村会長）9 月 10 日に 3 協会各 10 分間ずつのプレゼンを行った。
9. 認知症リハビリテーション・初期集中支援実施に向けての調査等について（荻山制度対策副部長）8 月 3 日、埼玉県下の病院において調査を実施。
10. (株) 日本総合研究所企画プロジェクトへの協力について（中村会長）協力を依頼され、民間ベースのモデルづくりへの作業療法士の関与も考えられるので受諾した。
11. WFOT Bulletin の配布方法の変更について（清水順国際部長）今年千葉で開催された WFOT 代表者会議において配布方法と発行回数等が変更された。

12. WFOT 大会時の東アジア諸国との交流会について（清水順国際部長）6月19日に行われた交流会の内容の報告がされ、議事録が提出された。

13. 就労支援フォーラム NIPPON 2014 について（荻原事務局長）12月6・7日に当協会も実行委員会を構成する主催団体の一つとして加わる形で開催されることとなった。

14. 渉外活動報告（文書報告）

小林毅広報副部長：①スマート・ライフ・プロジェクト推進委員会に出席②チーム医療推進協議会運営委員会に出席③リハビリテーション研修会の6学協会の実行委員会に出席。

中村会長：下肢慢性創傷予防リハビリテーション研究会へ、理事を3名推薦したい。

15. 日本作業療法士連盟報告：（谷連盟担当理事）連盟HPの改定、政治パーティーへの参加報告と予定。検討事項としてリハ議連との関わり方と方向性等が報告された。

16. 訪問リハビリテーション振興財団への資金拠出と財団活動報告（土井事務局次長）今年度、訪問リハステーションの運営資金として300万円を支出した。（谷財団担当理事）気仙沼の訪問リハステーションが10月1日に営業開始となる。

17. その他

山根副会長：「五十年史」原稿の各部への執筆依頼をした。8月に歴代会長の座談会開催。

香山災害対策室長：8月26日に広島県の土砂災害に対してお見舞い文の送信と、被害状況の確認を行い、被災会員2名に対しては会費免除の用紙を送付した。

II 審議事項

1. 役員報酬の考え方と第二次補正予算について（香山財務担当理事）役員の福利厚生費の考え方について、会計法人の市川氏からの説明後、採決し、賛成14票にて承認される。補正予算についても承認される。 →承認

2. 理事の渉外活動に関する支出について（香山財務担当理事）理事のタクシー代と懇親会費について、書類申請手続きを必須要件とした提案。 →承認

3. 平成27年度予算関連事項について（香山財務担当理事）収入予測が算定され、それを前提とした各部への割当額と予算関連のスケジュールの提案。 →承認

4. 生活行為向上マネジメントに係る商標登録の取り下げについて（中村会長）書式が公に採用されることとなり、商標登録は取り下げることにしたとの提案。 →承認

5. 生活行為向上マネジメント推進プロジェクト特設委員会の設置継続について（土井担当理事）特設委員会は今年度までの時限措置だったが、来年度に継続する。 →承認

6. 平成26年度定時社員総会における質疑応答を踏まえた理事会の考え方と方針（案）に

- について（教育部案件2件を含む）（荻原事務局長）案の説明がされる。 →承認
（大庭教育副部長）認定作業療法士の更新時の問題に対する改善策の提案。 →承認
7. 平成27年度重点活動項目について（荻原事務局長）重点活動項目（案）の提案があり、文言の修正は次回とし、大枠が承認される。 →承認
 8. 作業療法白書2015について（荻原事務局長）7月理事会後の理事の意見の結果の報告と委員会の案が提案されたが、次回さらに案を提示する方向で進む。 →継続審議
 9. 協会保有コンピュータシステムの再構築について（荻原事務局長）コンピュータシステムの再整備を検討し、平成27年度に開発、平成28年度に導入の提案。 →承認
 10. 表彰規程の一部改正および平成27年度特別表彰に向けての士会への依頼文書について（荻原事務局長）表彰規程の一部改正と推薦依頼文書変更の提案。 →承認
 11. 学術誌『作業療法』最優秀論文賞・奨励賞の表彰について（宮口学術副部長）賞を設けることについて提案され、承認される。関連する事項については次回とする。 →承認
 12. 学会運営の手引きの一部改正について（宮口学術副部長）改正点について提案されたが、参加費と発表資格を分けての再提案となる。 →継続
 13. G7 認知症サミット in 日本（愛知、東京）の展示について（荻山制度対策副部長）作業療法士が中心となり、3協会ブース展示を行う。 →承認
 14. 協会パンフレット等の養成校への配布について（荻原事務局長）7月理事会後の理事のメールでの意見等、経緯の説明後、7月理事会で示された対応案。 →承認
 15. 第49回日本作業療法学会時の国際シンポジウムについて（清水順国際部長）2015年の神戸学会時における国際シンポジウムの開催の提案。 →承認
 16. 会員の入退会について（荻原事務局長）会費未納による会員資格喪失後の再度入会希望者23名、すべて精算済みである。死亡退会者5名。 →承認

以上